

県道境木島大間々線（東小保方町工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

・歩道が狭く、段差があるため、歩行者や自転車の通行が危険。安全に利用できる歩道を整備してもらいたい。(地元住民)



事業位置
伊勢崎市

事業の概要

- 事業箇所: 伊勢崎市東小保方町～東町
- 事業内容: 歩道整備 延長1,600m
- 事業期間: 令和6年度～

- 現在の交通量: 10,803台/日(自動車)
81人/12時間(歩行者)
128台/12時間(自転車)

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



事業前

◆道路幅が狭いことに加え、狭い片側歩道しかないため、歩行者や自転車が危険な状態となっています。



事業前の状況

事業後

◆歩道と車道を分離するブロックを設置するとともに、幅を広げ、歩行者・自転車が安全に通行できるようにします。



事業後のイメージ

今、何をしているか

令和7年度は地元のご意見を伺い、南工区の詳細設計を実施します。



成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%